

## 【紀北町】 校務 DX 計画

### 1 紀北町の校務 DX の取り組みについて

紀北町では、令和 3 年 4 月から全校において無線 LAN 環境を整備し、校務用端末を各教室でも使用できるようになりました。シームレスな ICT 環境が整い、Google アカウントを全教職員に付与することで、Google Workspace を活用した校務や授業を推進しています。

具体的な取り組みは以下のとおりです。

#### (1) 各種ツールを活用するための研修会の開催

町内および校内で、Google Workspace 等の活用に関する研修会を定期的に開催しています。地域の教育研究所の職員がコーディネートし、関連企業の講師を招くなどして、ICT を活用した実践的な研修を実施しています。

#### (2) ペーパーレスの推進

職員会議の資料を Google ドライブで共有し、紙資料の削減を進めています。各職員への配布資料もデータ化し、町内学校間の連絡や成績処理においてもシステムを活用することで、ペーパーレス化を推進しています。

#### (3) AI デジタルドリルの活用

「ライズ e ライブラリ」を導入し、一部の学校では児童生徒が毎日持ち帰り、宿題や自主学習に活用しています。これにより、紙プリントを削減し、教員の採点の手間を軽減しています。

#### (4) 保護者・生徒・教職員アンケートのクラウド化

Google フォームを活用し、従来紙で実施していたアンケートをクラウド化しています。

### 2 「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリストの自己点検結果」における課題

#### (1) 教職員のスキルと意識

教職員間で ICT スキルに差があり、ICT 活用に対する意識も多様です。ICT に苦手意識を持つ教員への効果的なアプローチ方法が課題となっています。

また、新しいアプリの使用方法を学ぶための時間や、授業で活用できるマニュアルが不足しています。Google Workspace は導入されているものの、その機能を十分に活用できていません。具体的な活用方法の提案など、意識改革を含めた取り組みが必要です。

#### (2) ルール・規則

情報セキュリティポリシーについては、学校設置者である町のポリシーを準用しており、教育情報セキュリティポリシーは未策定です。そのため、詳細なルールが定められていません。また、校務用端末の校外への持ち出しを禁止しています。

さらに、FAX や押印など、慣例となっている業務も残っています。

### 3 今後の校務 DX の取り組みについて

上記の現状を踏まえ、今後は以下の項目について重点的に校務 DX を推進します。

#### (1) 教職員向けの取り組み

- 教職員向けの研修会を引き続き開催し、ICT 活用スキルの向上を目指します。(継続)

- ICT 活用に関するマニュアル作成や情報共有の促進（令和 6 年度～）
  - 苦手意識を持つ教員への個別サポートの実施（令和 6 年度～）
- (2) ルール・規則への取り組み
- 教育情報セキュリティポリシーの策定を検討します。（令和 7 年度～）
  - FAX・押印の見直しに向けて検討します。（令和 7 年度～）
- (3) その他
- クラウドサービスの活用を拡充します。（令和 7 年度～）
  - 次期校務支援システムに向けて検討します。（令和 7 年度～）